



ふるさと健康体操

特別会計決算額

国民健康保険	歳入	44 億 3701 万円
	歳出	43 億 5605 万円
後期高齢者医療	歳入	3 億 1025 万円
	歳出	3 億 678 万円
下水道事業	歳入	4 億 5788 万円
	歳出	4 億 4638 万円
農業集落排水事業	歳入	9091 万円
	歳出	8511 万円

水道事業会計決算額

収益的収支	収入	8 億 7140 万円
	支出	7 億 9270 万円
資本的収支	収入	1 億 7913 万円
	支出	4 億 3229 万円

※金額の単位は万円（未満切捨）

農業集落排水事業特別会計
今市地区処理施設の経年劣化に伴う修繕を実施

決算の概要 供用開始後12年を経過した今市地区処理施設で電気・機械装置に経年劣化があらわれたため、動力制御盤更新工事、ばっ気攪拌装置修繕工事、上澄水排出装置修繕工事等を行い、施設機能の維持管理及び水質の安定に努めました。また、折原地区処理施設の供用開始にあわせ、進入道・外周道の舗装工事を行いました。

国民健康保険特別会計
1人当たりの医療費、前年度より伸び幅減少

決算の概要 町では、伸び続ける医療費の適正化のため、前年度に引き続き健康づくり事業に取り組み、あわせて保健事業を行いました。医療費は増加していますが、1人当たりの医療費では、31万4152円（前年度比3.5%増）と、平成23年度の前年度比4.7%増、平成22年度の前年度比9.8%増と比べ、伸び幅が小さくなっています。歳入決算額は44億3701万2000円、歳出決算額は43億5605万2000円と、8096万円の黒字となりました。

後期高齢者医療特別会計
制度開始から、初めて医療費が対前年度比減に

決算の概要 町では、運営主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、被保険者証の引き渡し、保険料納付通知書の送付と保険料の徴収、給付申請などの窓口事務を行っています。高齢化の進展に伴い、被保険者数は引き続き増加していますが、1人当たりの医療費は前年度から2.2%減の78万2875円となり、制度開始以来、初めて対前年度比が減額となりました。

下水道事業特別会計
寄居駅南などの整備は認可面積の87.1%に

決算の概要 公共下水道施設整備については、寄居駅南地区・男衾駅周辺の合計7.1ヘクタールの面整備を実施。これにより整備面積は認可面積の87.1%を達成しました。維持管理については、常木・本宿地区管渠5233メートル及び役場東の体育館通りの伏せ越しマンホールの清掃を行い、経年劣化により機能低下した寄居第1中継ポンプ場の制御盤及び玉淀マンホールポンプ場のポンプの交換等を行い、管路施設機能の確保に努めました。

水道事業会計
年間総配水量480万m³

決算の概要 公共工事に伴う配水管布設事業のほか、震災対策を踏まえた老朽管更新事業に取り組みとともに、彩の国資源循環工場第2期事業に伴う専用配水管の布設工事及び、平成23年度からの継続事業として実施した加圧ポンプ場の建設工事が完成。このような状況の中、年間総配水量は480万2288立方メートル、水道事業収益は8億3131万円となり前年度比4%増加。この結果、当年度純利益は7185万円となりました。

水道事業会計

<p>賛成 計画的な整備と健全経営を評価</p> <p>瀧澤 忍議員</p> <p>今後、収益の増加が見込まれる彩の国資源循環工場第2期事業の専用配水管の布設及び加圧ポンプ場の建設を完成させ、さらに漏水事故防止や震災対策を踏まえ、老朽管の更新事業が計画的かつ着実に進められている。また、高金利の企業債の繰り上げ償還を行い、経営の健全化に努めている。引き続き安定供給の強化、持続可能な事業運営を要望する。</p>	<p>反対 10m²以下の基本料金の設定を</p> <p>田母神節子議員</p> <p>年々総配水量が減少してきているが、ホンダ寄居工場や新規加入者の増加により、加入者分担金が今年度は3274万円の増収。今後は総配水量も増加が見込まれる。水道料金の値下げと1日も早い10立方メートル以下の基本料金の設定で、単身者・高齢者世帯への負担軽減と節水の努力に応えるべきである。</p>
--	--



▲資源循環工場への配水を行う加圧ポンプ場

▲寄居駅南・男衾駅周辺で7.1ヘクタールの面整備

後期高齢者医療 特別会計

<p>賛成 1人当たり医療費減を評価すべき</p> <p>鈴木詠子議員</p> <p>1人当たりの医療費が、前年度マイナス2.2%と制度開始以来、初めて減少に転じたことは、高齢化の中で、評価すべきと考える。今後もさまざまな角度からの健康づくり事業の推進を期待する。将来にわたり高齢者が安心して医療が受けられるよう、高齢者への丁寧・迅速な対応とともに広域連合と連携し、健全運営のため執行のさらなる努力を要望する。</p>	<p>反対 保険料の値下げと制度廃止しかない</p> <p>田母神節子議員</p> <p>75歳になると、今までの保険から外して、75歳以上をひとくくりとした後期高齢者医療制度に入れるという世界に例のない高齢者いじめの制度である。廃止しかない。埼玉県後期高齢者医療広域連合議会の決算では、27億円も黒字が出ている。まず保険料の値下げが必要である。そして制度廃止を要望する。</p>
--	---

国民健康保険 特別会計

<p>賛成 健康づくり事業の効果に期待</p> <p>神田 崇議員</p> <p>一般会計からの赤字補てんも、前年度の3億円から5000万円減額できたことは評価できる。特にチャレンジポイント事業などの健康づくり事業による効果が、医療費の面で見え始めてきていることは、さらなる改善が期待できる。国保税の収納確保も必要である。そして適切な滞納整理を進めた結果、収納率の向上につながり評価できる。</p>	<p>反対 保険料引き下げで安心して医者になる</p> <p>田母神節子議員</p> <p>国民健康保険制度は、すべての人が必要ときに医者にかかれる皆保険として出発した。国の社会保障の改悪により、本人負担・自治体負担が大きくなり、保険料を払わない人には保険証を渡さない（4人）。また、高い保険料は生活を圧迫している。年1万円の保険料の引き下げで、安心して医者にかかれるようにすべきである。</p>
--	---

次のページは「町に考えを聞く！」一般質問